

# ある特定時点の状態を保存・復元する方法 (Windows 8.1 版)

2013.11.27

作業に必要なもの：

512MB 以上の USB メモリ 1 個、および普段使っている大容量外付け HDD 1 台

## ◆準備◆「リカバリ開始用 USB メモリ(回復ドライブ)」の作り方

1. 512MB 以上の容量をもつ USB メモリを用意する[※1]
2. USB メモリをパソコンに差し込む。それ以外の USB メモリや外付け HDD は取り外しておくこと
3. 「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」
4. 「ファイル履歴」→画面左下の「回復」をクリック
5. 「回復ドライブの作成」→「次へ」→(30 秒ほど待つ)
6. 「次へ」→「作成」→(20 秒ほど待つ)→「完了」

## ◆バックアップ◆「リカバリデータのいった外付け HDD」の作り方

1. 現在の C ドライブがすっぽり入るくらいの十分な空き容量を持つ外付け HDD を用意する[※2]
2. 外付け HDD をパソコンに差し込む。それ以外の USB メモリや、外付け HDD は取り外しておくこと
3. 「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」
4. 「ファイル履歴」→画面左下の「システム イメージ バックアップ」をクリック
5. 「ハードディスク上(H)」[※4]の左側にチェックが入っていることを確認して「次へ」
6. 「次へ」→「バックアップの開始」→バックアップが終わるまで 20 分～数時間ほど待つ
7. 「システム修復ディスクを作成しますか？」と毎回聞いてくるので→「いいえ」[※3]
8. ウィンドウが消えたら完了です[※5]

## ◆復元◆リカバリの方法

1. シャットダウンさせておく
2. 「リカバリ開始用 USB メモリ」、「リカバリデータのいった外付け HDD」をどちらも差し込んでおく
3. 電源ボタンを押して起動させる
4. キーボードレイアウトの選択で「Microsoft IME」を選ぶ
6. 「トラブルシューティング」→「詳細オプション」
7. 「イメージでシステムを回復」→「Windows 8.1」[※6]
8. 「日付と時刻」の欄に、例えば「2013/11/26 13:44:48 (GMT+9:00)」[※7]と書かれていることを確認したら「次へ」→「次へ」→「完了」→「はい」
9. 20 分～数時間ほどかかるので、ひたすら待つ。完了したら自動的に Windows が起動してデスクトップ画面まで移行した状態になっている

### [脚注]

※1…この USB メモリは他の用途では使えなくなり、既に入っているデータがあれば全消去されます。8 では CD-R で作成できましたが、8.1 で CD-R では作れないように変更されたため、一般的に USB メモリを使うこととなります。

※2…この外付け HDD は他の用途でも使えるが、HDD 直下にある「WindowsImageBackup」フォルダは決して変更しないように注意すること。場所・フォルダ名・内容を変えるとリカバリできなくなります。

※3…「システム修復ディスク」とは、このマニュアルで言う「リカバリ開始用 USB メモリ」のこと。「回復ドライブ」とも言います。

※4…保存場所は人によって変わりますので、適宜読み替えてください。

※5…慣れないうちは、外付け HDD の直下に「WindowsImageBackup」フォルダができていることを確認してください。このフォルダはアクセス制限がかかっており、右クリック→プロパティで容量が 0 と表示されますが、実際は大量のデータが入っていますので誤解しないでください。

※6…ユーザーアカウントやパスワードの画面になることがあるらしいです(調査中)。

※7…前回バックアップした日時が表示されていますので、適宜読み替えて下さい。前々回のものなど、古いイメージを選択したい場合は「システムイメージを選択する」の左にチェックを入れて探すこともできます。